

リスクの定量分析（試行実施）

大阪市ホームページで公表されている「公金支出情報（一般会計及び特別会計（政令等特別会計））」（平成26年度、平成27年度）を基に、リスクの定量分析を試行実施した。

支出を細節単位で集計し、本市の公金支出金額のボリュームを影響度、事務処理の回数を発生可能性としてリスクの定量分析を行ったもの  
 支出金額上位のものと、支払回数上位のものについて、それぞれ影響度・発生可能性によりマトリックスに当てはめた

大	1千億円以上のレベル	・公債元金償還金 ・負担金	・医療扶助金 ・措置扶助金 ・生活扶助金	・委託料
	中	十億円～数百億円のレベル	・使用料 ・報償金	・消耗品費 ・通信運搬費
			・普通旅費	
小	十億円未満のレベル			
金額のボリューム（影響度）		年2500回未満 （1日あたり10回未満）	年25000回未満 （1日あたり100回未満）	年25000回以上 （1日あたり100回以上）
事務処理回数（発生可能性）		低	中	高

年250日で計算